

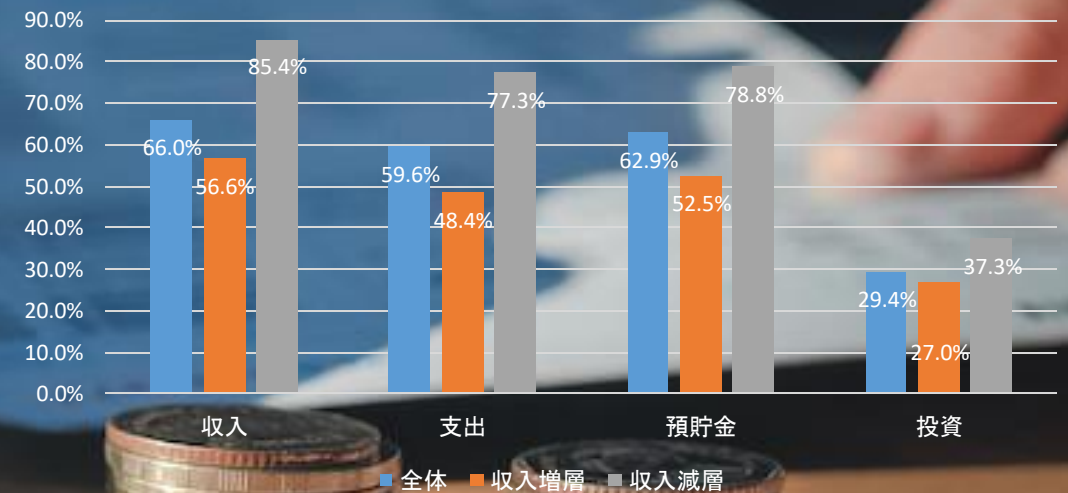
デザインワークショップ 2021年度

投資を促進するためには ~人生100年時代を見据え~

人生100年時代といわれている中、年金額が減少している。そのため、資産形成するためには投資が必須となってくる。

しかし、諸外国ほど投資が進んでいるとは言えないため、投資を促進するためにはどうすればいいのか考える。

将来のお金に対する不安
とても不安を感じる、不安を感じる割合



日本FP協会「暮らしとお金に関する意識調査2020」

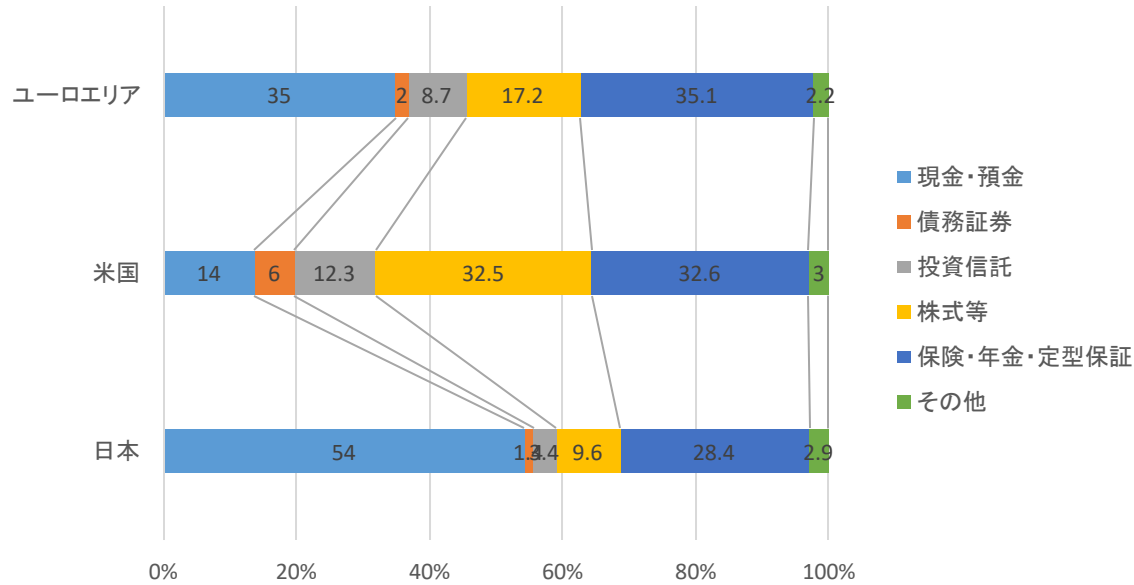
https://www.jafp.or.jp/about_jafp/katsudou/news/news_2020/files/newsrelease20201215.pdf

背景

出所: 2020年8月21日付日本銀行「資金循環の日米欧比較」

<https://www.boj.or.jp/statistics/sj/sjhiq.pdf>

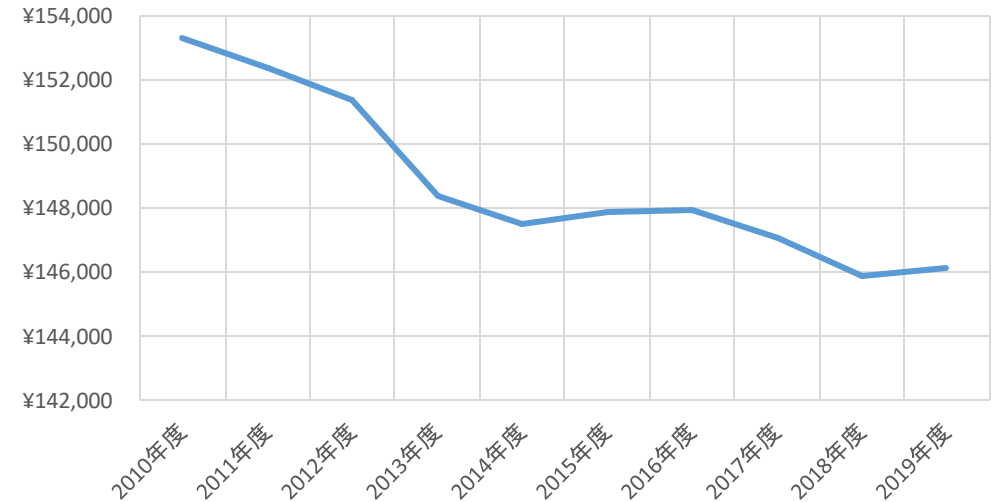
家計の金融資産構成



出所: 日本年金機構 主要統計

<https://www.nenkin.go.jp/info/tokei/shuyotokei/kako/index.html>

老齢厚生年金の平均給付月額



老齢年金の受給額は右図のとおり年々低下しており、将来の年金受給額は減少し続けることが懸念されている。年金の受給額低下の代わりに貯蓄から投資の動きもみられ、政府はNISAやiDeCoなど投資への税優遇処置を行っており、現在は投資をするチャンスともいえる。

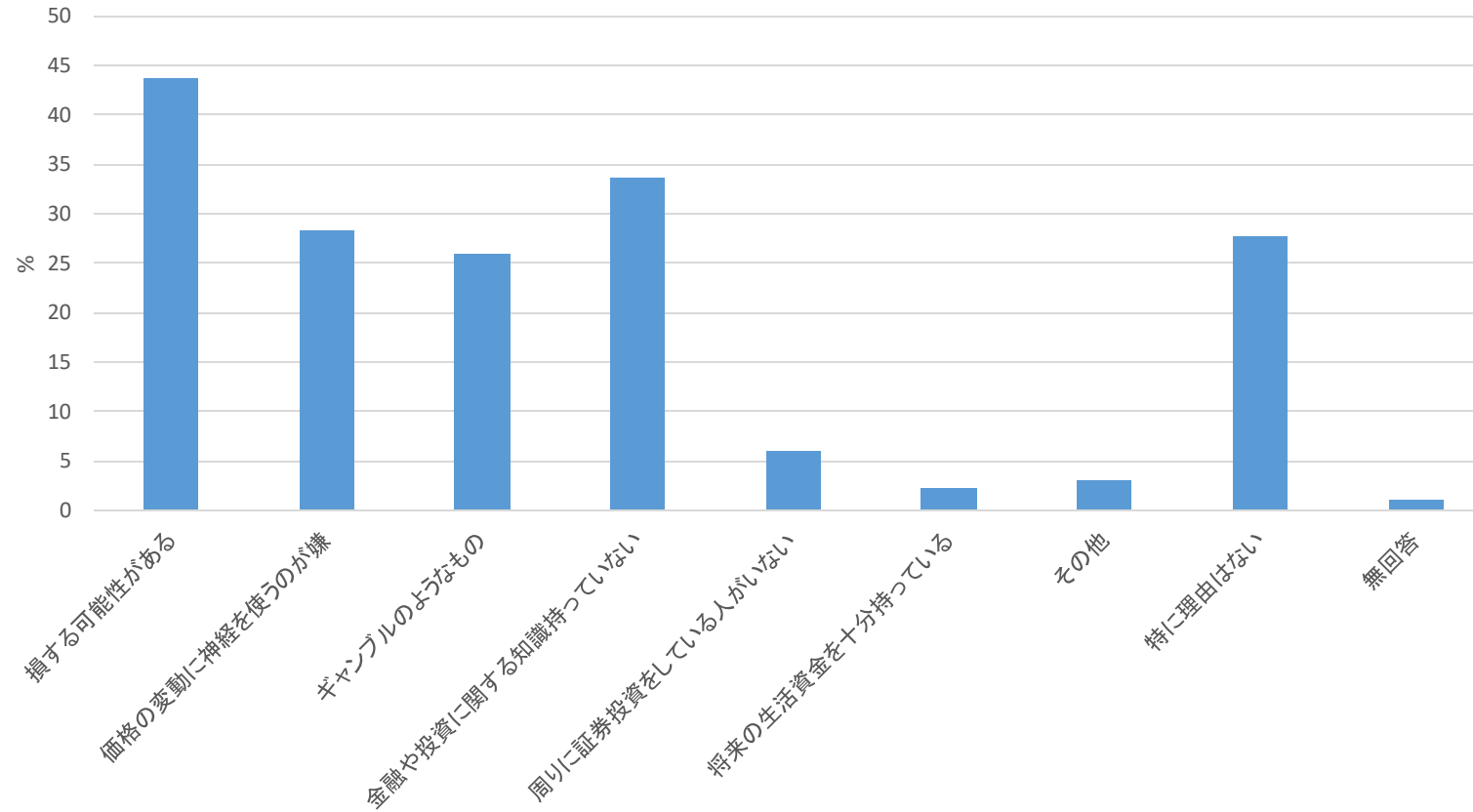
一方海外と比較して日本は投資の習慣が根付いていないといえる。家計の資産構成でも投信や株式などの割合は15%に届かず、将来の資産形成に不安が残る。

投資は必要ないと考える理由は？

平成30年度証券投資に関する全国調査(日本証券業協会)

https://www.jsda.or.jp/shiryoshitsu/toukei/data/research_h30.html

証券投資は必要ない理由



損をすることが嫌な人が約半数
→投資に対する損失を避ける傾向があり、リスク>リターンと考えている

ギャンブルのようなもの・金融や投資に関する知識を持っていない
→金融に関する知識を学ぶ機会が今まであれば変化か？

価格の変動に神経を使うのが嫌
→価格変動を気にしない投資スタイルを確立できれば

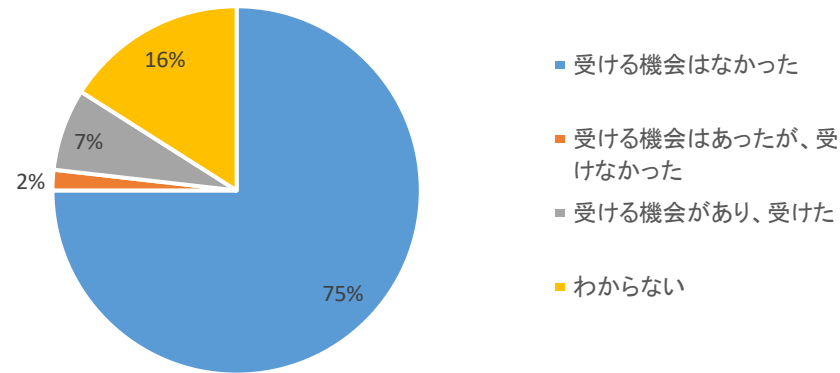
・考察
金融に関する知識を得る機会や投資スタイルを確立するための方法が明確にあれば、投資へのモチベーションになるのでは

金融教育の経験有無

金融リテラシー調査(金融広報中央委員会)

https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/literacy_chosa/2019/

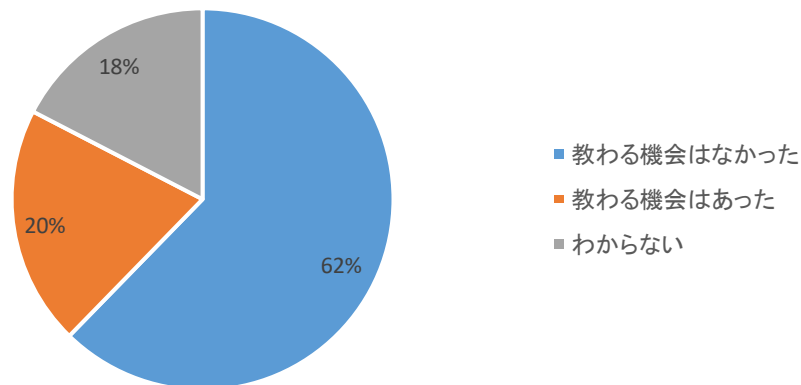
金融教育の経験(学校等)



学校教育で金融教育を受けた人の割合は16%
家庭で金融教育を経験した人の割合は2割

また、金融教育が必要とした人の割合は金融リテラシー調査の資料によると67.2%

金融教育の経験(家庭)



・考察

学校や家庭で金融教育を受ける機会がないため、子どものうちに金融知識を身につけることができない
→親や教師も金融知識がないか、家庭内ではお金の話をすることがタブー視されているのでは

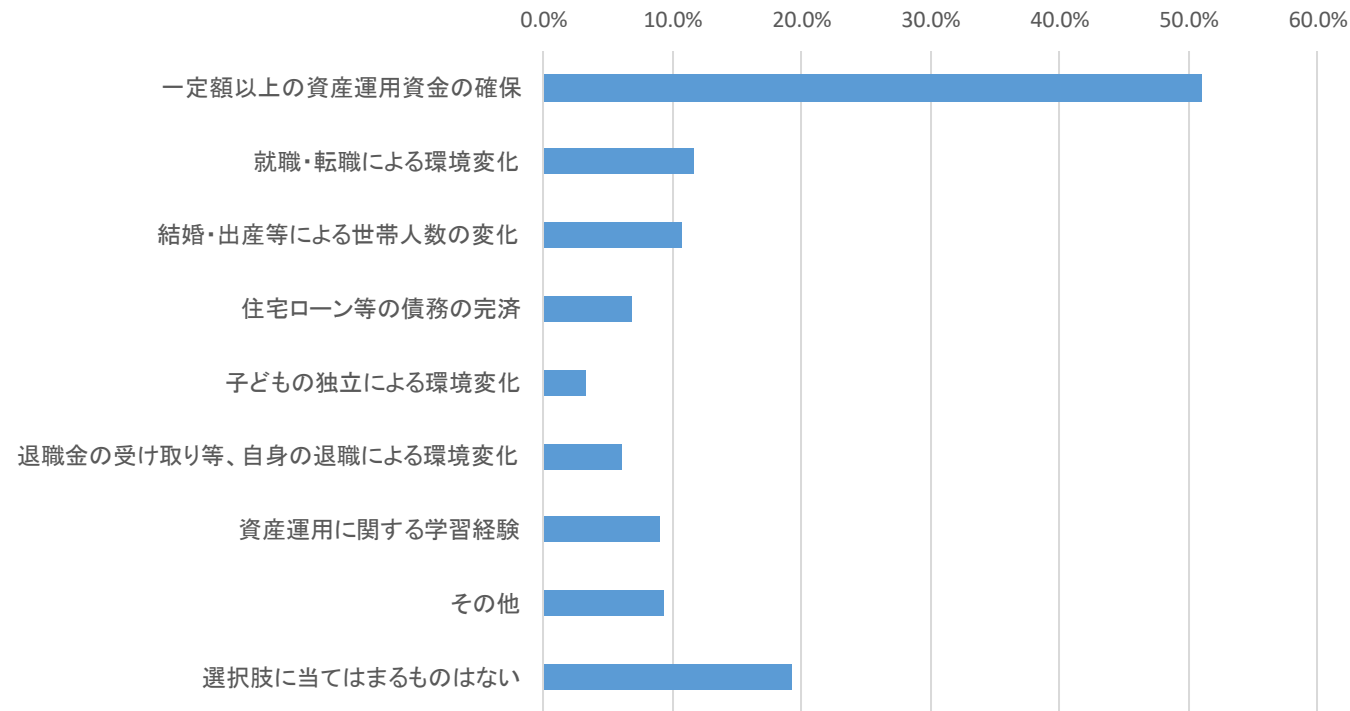
学校で外部講師を呼んで学ぶ、オンラインコンテンツで学ぶ、入社時に会社から学ぶなど金融リテラシーを上げるためには何らかの工夫が必要

実際に投資口座の開設を検討した人のきっかけは？

金融リテラシー1万人調査の概要(三菱UFJフィナンシャルグループ)

https://www.tr.mufg.jp/shisan-ken/pdf/kinnyuu_literacy_01.pdf

投資口座開設を検討した環境変化に関するきっかけ



投資用口座を開設検討したきっかけで最も多かったのは「一定額以上の資産運用資金の確保」で、半数以上を超えた。

また、結婚、退職、就職など人生の節目に開設する模様。

・考察

投資資金がたまったので投資をしようとするため、資金がある程度ないといけないという認識があるのでは

→ポイントで投資ができる、ワンコインから投資ができるなど、少額でも投資ができることを金融関係者はもっと発信するとどうなるか

心機一転の気持ちで口座を開設する場合も多い

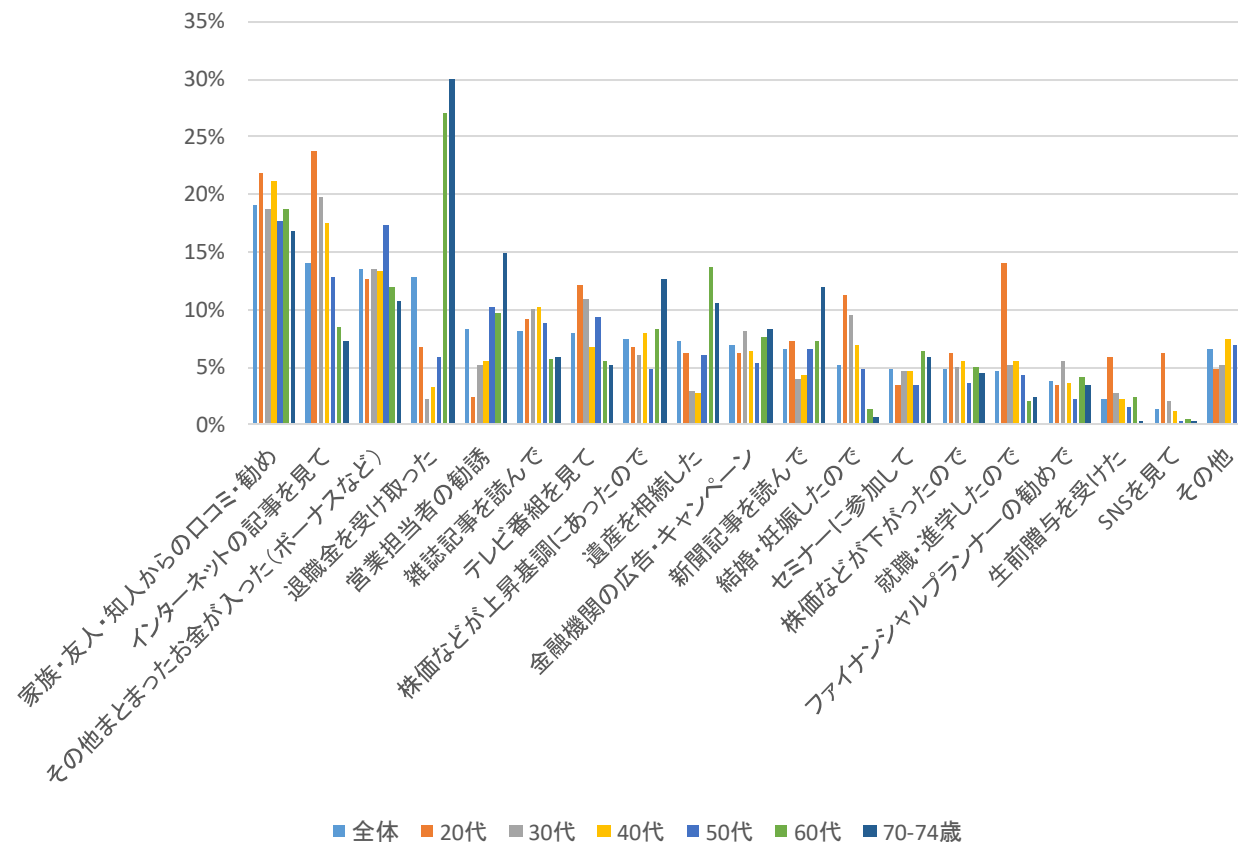
→人生の節目で将来のライフプランを考えるようになる傾向になるため、ライフプランを一緒に考えてくれる相談者がいると投資が進むのでは

投資を始めたきっかけは？

個人の資産形成に関する意識調査 (QUICK資産運用研究所)

資産形成・資産運用を始めたきっかけ

https://moneyworld.jp/news/03_00014087_news



投資を実際に始めたきっかけで全体で最も多かったのは家族友人など身近な人からの勧め

世代別にみると年齢の高い世代は退職金を受け取った、営業担当からの勧誘の割合が非常に高くなる。

若い世代だとインターネット記事、SNSや就職・進学・結婚・妊娠がきっかけとなることが多い

・考察

世代ごとに投資を始めるきっかけに大きく違いがあるため、世代ごとに投資を促進するための方法を考える必要

若い世代はWebからのアプローチや人生の節目で何かしらの投資意欲をかき立てる方法が有効か

年齢層の高い世代は退職金を得たときどう投資をすすめるのかが重要に